

広丘公民館

×

帰還者たちの記憶ミュージアム

平和祈念展 in 塩尻

『凍りの掌』講談社版表紙 ©おざわゆき



MANGA

マンガと絵画から探るシベリア抑留

PAINTING



早田貫一「国境を越えシベリアへ」

ラーゲリの記憶

展示期間

2026

8.2 (日) → 9 (日)

展示会場

広丘公民館 (塩尻市北部交流センター・えんてらす)
1階101.102会議室前、2階アルプスホール
長野県塩尻市大字広丘野村2069番地1
開館時間: 8:30~22:00

観覧無料

主催: 帰還者たちの記憶ミュージアム(平和祈念展示資料館[総務省委託])、広丘公民館/後援: 長野県、長野県教育委員会

マンガと絵画から探るシベリア抑留 ラーゲリの記憶 平和祈念展 in 塩尻

帰還者たちの記憶ミュージアム(平和祈念展示資料館/東京都新宿区)は、さきの大戦における、兵士、戦後強制抑留者(シベリア抑留者)、海外からの引揚者の体験を広く伝えるため、全国各地で巡回展などを行っています。

この夏は、広丘公民館との共催で、シベリア抑留を知り、その記憶を語り継ぐ展示会を開催いたします。厳しい労働、飢え、寒さなどに耐え、帰国の日が来ることを信じて懸命に生きた人びとの姿を、マンガ作品や体験者が描いた絵画などで紹介します。

「抑留」という出来事には、戦後日本の歩みや現代の国際関係をひも解くヒントが隠されています。知っているようで知らない歴史の一端を会場をご覧ください。

戦後強制抑留者(シベリア抑留者)

戦争が終結したにもかかわらず、シベリアを始めとする旧ソ連やモンゴルの酷寒の地において、乏しい食糧と劣悪な生活環境の中で、過酷な強制労働に従事させられた方々です。



絵本『氷海のクロ』より©北野美子・神津良子、郷土出版社



佐藤清「収容所の冬景色」



斎藤邦雄「内地からの手紙」



小野文雄「作業に行く」

関連イベント

平和祈念講演

戦争の記憶から学ぶ平和のかたち

- 高校生による探求テーマ『満蒙開拓』の研究発表
- 展示会担当者による『シベリア抑留』の解説

日時 8月2日(日) 10:00~11:50

場所 広丘公民館 101.102会議室

帰還者たちの記憶ミュージアムの学芸員による展示解説などを講演会形式で行います。

※参加方法などの詳細は「公民館だより7月」チラシをご確認ください。

広丘公民館

(塩尻市北部交流センター・えんてらす)

長野県塩尻市大字広丘野村2069番地1

Tel. 0263-52-0157

電話・窓口対応は平日9:00~16:30



帰還者たちの記憶ミュージアム
MEMORIAL MUSEUM FOR SOLDIERS, DETAINEES
IN SIBERIA, AND POSTWAR REPATRIATES
平和祈念展示資料館 [総務省委託]



@heiwakinen

東京都新宿区西新宿2-6-1

新宿住友ビル33階

Tel. 03-5323-8709

<https://www.heiwakinen.go.jp>